# 三菱統合ビルオートメーションシステム“MELBAS-AD”のWeb化とエネルギー管理機能強化

阪田　哲*　藤田裕之*
福田浩士*
小島康治*

**要　旨**

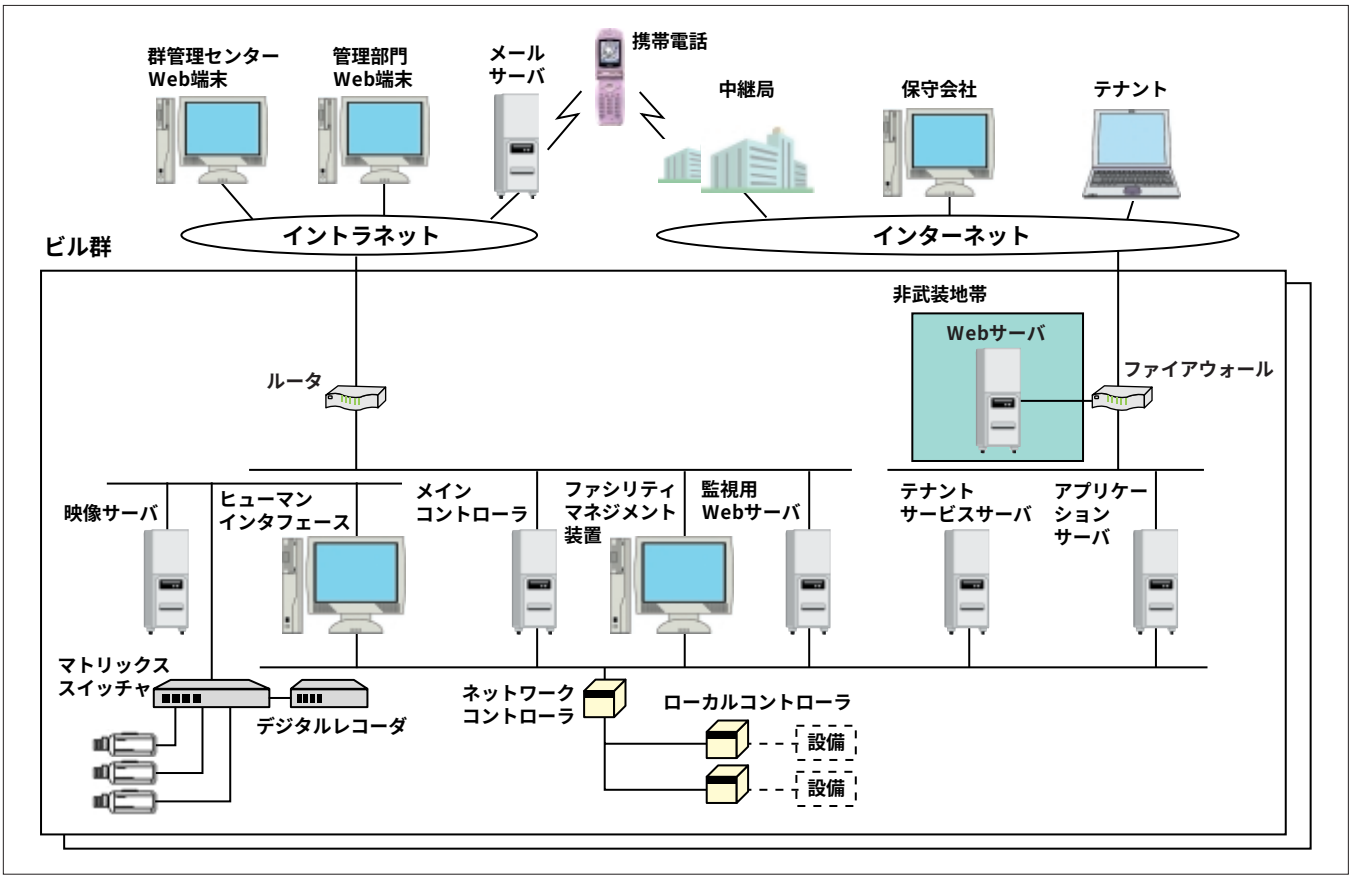
IT(Infomation Technology：情報技術)は，あらゆる分野に普及し革新を生み出している。ビル管理分野も例外でなく，ビル管理システムで保有する情報の公開や，テナントサービスのWeb化のニーズが高まっている。さらに，大容量のネットワークインフラを活用し，新しい形態のビル運営管理を提案できるようになった。

また，2003年４月に改正された「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(以下，省エネ法)では，ビルオーナーに判断基準に沿ったエネルギー使用の合理化が義務付けられ，省エネルギーを推進することが重大な課題となっている。

三菱統合オートメーションシステム“MELBAS-AD”は，“ビル設備監視制御”機能に“ビル運営管理のための情報処理”を行うビルマネジメント機能を融合したシステムであり，単なる設備監視制御だけでなく，快適性・安全性を保ちながら運営管理コストやエネルギー消費を抑え，効率的なビル運営管理を実現することを目的とするシステムである。

今回，ビル管理システムのIT化，及び省エネルギーへの取り組みとして，MELBAS-ADに以下の機能強化を図ったので，その内容について述べる。

(1)　ビル管理機能のWeb化
(2)　エネルギー管理機能
(3)　画像監視機能




**三菱統合ビルオートメーションシステム“MELBAS-AD”全体構成**

MELBAS-ADは，Web，メールによる遠隔監視制御，テナントサービス，エネルギー管理を行える統合型ビルオートメーションシステムである。また，画像による視覚的な監視も可能である。

*社会ｅソリューション事業所